

## 「長周期地震動に関する情報検討会」第 1 回の開催について

従来、巨大地震に伴って発生する長周期地震動により高層ビル等において大きな揺れが生じると懸念されていましたが、平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震において、大都市圏に立地する高層ビル内で、人の行動が困難となったり什器等が転倒・移動するといった被害が発生しました。

平成 23 年度に開催した「長周期地震動に関する情報のあり方検討会」において、震度では長周期地震動の大きさを評価することは出来ないことから、高層ビル内での的確な防災対応の実施に資する新たな防災情報として、長周期地震動に関する予報および観測結果の公表が必要である、との提言を頂きました。

長周期地震動に関する情報の発表を行うにあたっては、高層ビルの防災対応に有効な情報の内容や伝達手段はどうあるべきか、予報から観測結果の公表までの一連の情報の体系はどうあるべきか、等についての具体的な検討が必要です。

このため、長周期地震動に関して気象庁が作成し提供する情報の具体的な検討を行い、年度内に提言を頂くため、有識者及び関係機関からなる検討会を以下のとおり開催することとしました。

### 記

1. 日時 平成 24 年 10 月 22 日（月）15 時 00 分～17 時 00 分
2. 場所 気象庁講堂（気象庁 2 階）
3. 議事（予定）：
  - ・ 長周期地震動に関する観測情報を発表するための解析手法、発表基準、内容 等
4. 検討会委員  
別紙のとおり
5. 当日の取材について
  - ・ 傍聴は可能ですが、会場の都合上、希望される方はあらかじめ、10 月 18 日（木）17 時まで  
に以下の連絡先までご連絡願います。また、場合によっては、席を準備できない場合もあり  
ますのでご了承ください。
  - ・ 写真・映像等のカメラ撮影は、冒頭のみ可とさせていただきます。
  - ・ 後日速やかに、議事要旨を公表します。

【連絡先】気象庁地震火山部地震津波監視課  
（電話）03-3212-8341 内線 4582（全体）、4558（傍聴希望）

(別紙)

検討会メンバー（◎：座長、○：副座長）

◎福和伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長

○翠川三郎 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授

青井 真 （独）防災科学技術研究所観測・予測研究領域地震・火山防災研究ユニット  
地震・火山観測データセンター長

秋山伸一 伊藤忠テクノソリューションズ（株）科学システム事業部  
原子力・エンジニアリング部 部長代行 【気象振興協議会推薦委員】

井上勝徳 国土交通省住宅局建築指導課長

北村春幸 東京理科大学理工学部長

小鹿紀英 （株）小堀鐸二研究所副所長

谷原和憲 一般社団法人日本民間放送連盟 災害放送専門部会幹事  
（日本テレビ放送網（株） 報道局マルチニュース制作部長）

寺田博幹 文部科学省研究開発局地震・防災研究課長

中森広道 日本大学文理学部教授

長田恭明 日本放送協会報道局災害・気象センター長

久田嘉章 工学院大学建築学部教授

藤山秀章 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官（調査・企画担当）

村上研一 東京消防庁防災部長

山口英樹 消防庁国民保護・防災部防災課長

横田 崇 気象庁気象研究所地震火山研究部長

（事務局）地震火山部地震津波監視課